

第 42 期

事 業 報 告

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

知多南部卸売市場株式会社

1. 株式会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

知多南部卸売市場株式会社は、知多地域における拠点市場を運営し、生産者と消費者を結ぶ公共的使命を果たしています。

令和6年度の売上高は、病院建設事業者に使用していただいた市場施設が一部返還されたことにより、前年度対比2.2%の減少で5,464万5千円、販売費及び一般管理費は、雨漏りによる修繕や樹木伐採等の費用が増えたこともあり、同対比4.6%の増加で4,012万1千円となりました。また、当期純利益は、上記要因に加え、駐車場収入の減少や欠損金繰越の税控除が終了したことなどから、同対比44.3%の減少で1,022万8千円となりました。

令和6年度は、雨漏りや空調等の必要な修繕を行い、市場環境の維持向上に努めるとともに、今後の大規模修繕に備え、資金運用も継続しています。

今後も安定した生鮮食料品の供給ができるよう老朽化している施設の整備を進め、市場の更なる発展を目指して努力してまいります。

① 市場取扱高（前年対比）

（数量：トン 金額：千円税込み）

区分	令和6年度		令和5年度		前年対比（%）	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
野菜	5,491	1,639,035	5,518	1,366,238	99.5	120.0
果実	1,690	998,632	1,846	957,733	91.5	104.3
水産	81	295,694	85	318,410	95.3	92.9
合計	7,262	2,933,361	7,449	2,642,381	97.5	111.0

②市場関係事業所の概要

種 別		事 業 者 名	代表者名	営 業 内 容
卸売業者		株式会社知多総合卸売市場	竹内孝好	生鮮食料品卸売
仲卸業者		不二青果株式会社	鳥居登美枝	青果物仲卸
		大進青果株式会社	大橋邦次	青果物仲卸
関連事業者	第一種	半田水産	池谷邦子	仕出用加工品
		株式会社丸一精肉	粕山晃範	精肉
	第二種	株式会社システムサポート	酒井一虎	警備業務ほか
		株式会社中部メイカン	小寺仁康	清涼飲料水インスタント類
合計		7 事業者		

② 売買参加者

令和7年3月末日（単位：人）

半田市	常滑市	阿久比町	南知多町	美浜町	武豊町	その他	合計
142	76	21	49	32	32	122	474

（２）資金調達等についての状況

①資金調達

該当なし

②設備投資

主要な設備投資はありません。

（３）直前三事業年度の財産及び損益の状況

区分	第 39 期 令和 3 年度	第 40 期 令和 4 年度	第 41 期 令和 5 年度	第 42 期 令和 6 年度
売上高	千円 53,511	千円 56,642	千円 55,867	千円 54,645
経常損益	3,205	10,360	20,201	14,654
当期損益	2,908	51,704	18,372	10,228
1 株当たりの 当期損益	206 円 21 銭	3,665 円 65 銭	1,302 円 55 銭	725 円 18 銭
総資産	680,553	723,231	733,947	737,719
純資産	477,309	529,014	547,386	557,615

（４）対処すべき課題

国は、各市場の実態に応じて創意工夫を活かした取組みを図るべく、卸売市場法を改正いたしました。

卸売市場の取扱金額の減少等から、本市場においても取扱高の減少を始め、施設の経年劣化による維持管理費の増大等、厳しさを増す経営環境に直面しています。

このような状況のなか、知多地域における本市場の一定の役割を踏まえた上で、周辺環境の状況変化を念頭に、現状の資産を有効活用するとともに関係事業者と協議・検討を行い、本市場の再生に向け取り組んでまいります。

（５）主要な事業内容

当社は、愛知県知事の認定を受けて市場を開設し、施設の維持管理と卸売市場法による業務の承認及び市場取引についての指導監督を行っております。

（６）使用人の状況

使用人数（前期末比増減）	年齢	勤続年数
1 名（0 名）	51 歳	21 年

（７）重要な親会社及び子会社の状況

①親会社との関係

該当なし

②重要な子会社等の状況

該当なし

（８）主要な借入先及び借入額

借入先	借入額	借入先が有する当社の株式	持株比率
知多信用金庫（長期）	112,000 千円	0 株	— %

2. 株式に関する事項

①会社が発行する株式の総数 20,000 株

②発行済株式の総数 14,105 株

③株主数 3 名

④大株主

株主名	持株数	持株比率 %	当社の当該株主への出資状況	
			持株数	議決権比率
半田市	5,581	68.22	—	—
(株)知多総合卸売市場	2,600	31.78	—	—
自己株式	5,924			
合 計	14,105	100.00	—	—

注 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数を除いて算出しております。

3. 新株予約権等に関する事項

該当なし

4. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役

地位	氏名	担当	他の法人等の代表状況等
代表取締役	久世孝宏	社長	半田市長
取締役	竹内孝好	副社長	(株)知多総合卸売市場 社長
〃	堀寄敬雄 注1	専務	
〃	小野宗雄		(株)知多総合卸売市場 常務
〃	大山仁志		半田市市民経済部長
〃	大木康敬 注1		半田市産業課長
監査役	谷口智治		(株)知多総合卸売市場 青果部長
〃	早川直樹 注2		半田市会計管理者
〃	齋藤政樹 注3		半田市会計管理者

注1. 取締役堀寄敬雄氏、大木康敬氏は、令和7年3月31日退任いたしました。

注2. 監査役早川直樹氏は、令和6年4月30日退任いたしました。

注3. 監査役齋藤政樹氏は、令和6年5月1日就任いたしました。

注4. 令和7年4月1日付で、専務取締役江原包光氏が就任しております。

注5. 令和7年4月1日付で、取締役に榊原正彦氏が就任しております。

(2) 取締役及び監査役に支払った報酬等の額

区 分	支給人員	支給額	摘要
取締役	1名	4,200千円	
監査役	0名	0千円	
合 計	1名	4,200千円	

(注) 取締役の報酬限度は、令和6年1月22日開催の臨時株主総会において、年額420万円以内と決議いただいております。

5. 会計監査人に関する事項

該当なし

決算報告書

(第 42 期)

自 2024年 4月 1日
至 2025年 3月 31日

知多南部卸売市場株式会社

半田市横山町200

(当期会計期間末)

(単位：円)

7

損 益 計 算 書

自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日

(当期累計期間)

知多南部卸売市場株式会社

(単位：円)

科 目	金 額	
【売上高】		
売上高	54,645,884	
売上高合計		54,645,884
売上総利益		54,645,884
【販売費及び一般管理費】		40,121,893
営業利益		14,523,991
【営業外収益】		
受取利息	193,014	
受取配当金	4,000	
雑収入	2,479,213	
受取地代	30,000	
営業外収益合計		2,706,227
【営業外費用】		
支払利息	992,393	
雑損失	1,582,861	
営業外費用合計		2,575,254
経常利益		14,654,964
特別利益合計		0
特別損失合計		0
税引前当期純利益		14,654,964
法人税、住民税及び事業税	4,426,270	
法人税等合計		4,426,270
当期純利益		10,228,694

販売費及び一般管理費明細書

自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日

(当期累計期間)

知多南部卸売市場株式会社

(単位：円)

科 目	金 額	
役員報酬	4,200,000	
給料手当	3,106,800	
賞与	1,055,760	
法定福利費	1,306,593	
福利厚生費	190,249	
交際費	6,200	
旅費交通費	122,714	
通信費	93,623	
消耗品費	225,968	
修繕費	3,356,455	
水道光熱費	2,073,761	
器具備品費	776,000	
地代家賃	1,248,600	
諸会費	100,400	
支払手数料	1,036,390	
リース料	426,000	
保険料	679,340	
租税公課	6,142,292	
減価償却費	10,295,560	
保守料	1,445,420	
委託料	2,207,780	
雑費	25,988	
販売費及び一般管理費合計		40,121,893

株主資本等変動計算書

自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日

(当期累計期間)

知多南部卸売市場株式会社

(単位：円)

	株主資本							純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式		株主資本 合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	70,000,000	92,625,000	542,625,000	635,250,000	△30,063,487	△30,063,487	△127,800,000	547,386,513	
当期変動額									
当期純利益						10,228,694		10,228,694	
当期変動額合計	0	0	0	0	0	10,228,694	0	10,228,694	
当期末残高	70,000,000	92,625,000	542,625,000	635,250,000	△19,834,793	△19,834,793	△127,800,000	557,615,207	

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっています。

2. 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法）を採用しています。

なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法の規定によっています。

②無形固定資産

法人税法に基づく定額法を採用しています。

3. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

4. 消費税の会計処理

税抜方式を採用しています。

株主資本等変動計算書に関する注記

1. 事業年度の末日における発行済株式の種類及び総数

普通株式 14,105 株

2. 事業年度の末日における自己株式の種類及び総数

普通株式 5,924 株

監 査 報 告 書

私たち監査役は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの第42期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和7年5月30日

知多南部卸売市場株式会社

監査役 齋藤 政樹 
監査役 谷口 智治 